

令和4年度第1回「仕切弁等操作要綱」策定に伴う研修会(座学)質疑応答

研修内容 1.仕切弁操作要綱の策定について	
質疑	弁操作に関する専門技術者等は必要になるか。また、弁操作は元請、下請のどちらでも可能か。(P3)
回答	弁操作責任者の配置が必要となります。なお、弁操作は元請、下請のどちらでも可能ですが、本工事の配管工事を施工した者に限られます。
質疑	特殊な知識や技術を要するため資格証を発行するなど、資格化を検討してはどうか。
回答	将来的には資格証の発行等も検討しておりますが、当面は責任者の実務経験年数等で判断をさせていただきます。

研修内容 2.仕切弁等操作マニュアルについて	
質疑	仕切弁を操作した結果、想定外の区域が断水となった場合や全閉にしても止水できない時の対処法を教えてください。
回答	作業計画書から想定できない事由が発生した場合は、発注者が主体的に問題解決に向け対応いたします。
質疑	充水、洗管作業に要する標準的な日数はどれくらいか。
回答	口径、延長にもよりますが、充水と洗管作業合わせて1日～2日程度と予定しています。なお、洗管については管容量の3倍以上の排水で水質に異常がなければ完了となります。
質疑	ソフトシール仕切弁本体に問題があり、適正なトルクで締めても止水できない場合の対応はどのようにするのか。(P6) (過去に同様の問題が起こった際、メーカーは製品不良を認めなかった)
回答	作業計画書から想定できない事由が発生した場合は、発注者が主体的に問題解決に向け対応いたします。
質疑	チェックリストの様式化により報告書類を簡素化及び統一化してほしい。また、弁操作の手順は発注者による指示としてほしい。
回答	作業計画書及び作業報告書については様式化で対応いたします。弁操作の手順については、監督員と打合せした上で、作業計画書に反映し承諾を得るようお願いいたします。
質疑	破損するほどのトルクがかからない工具が必要ではないのか。 2L/secで管内洗浄が完了できるのかどうか、直接確認したい。
回答	開閉作業(特に閉作業)の際には、給水管や消火栓等で出水具合を確認しながら過度なトルクを加えずに済むよう対応願います。なお、専用の仕切弁開閉キーに取り付けてトルクを管理する器具を販売しているメーカーはございます。(局においての導入は未定です。) 管内洗浄については流速1.0m/sec以上が望ましいとされております。(水道施設維持管理指針より) 排水量2L/sec(配水管φ100mmの場合⇒流速0.25m/secに相当)は目安であり、洗浄後の水質が確保できるよう現場の状況に合わせた対応をお願いします。

令和4年度第1回「仕切弁等操作要綱」策定に伴う研修会(座学)質疑応答

質疑	実際に見えないところは感覚や経験が必要になるため、実技研修では内部の映像や透明な管を使用した実験を行ってほしい。
回答	実技研修ではバルブの回転数による流量の違いや、その時のバルブの音の違いなどを確認できればと考えております。また、給水車や給水袋による応急給水なども合わせて実施できればと考えております。

研修内容	3.その他
質疑	仕切弁筐が除雪車により破損した。
回答	仕切弁筐については、道路地盤高より5~10mm程度低く設置するようお願いいたします。
質疑	施工管理について、各会社の参考になる取組みを市全体で共有してほしい。
回答	施工管理については、毎年5月頃に実施している水道工事担当者会議での共有を検討いたします。